

【高等学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）  
**A**：十分達成できている  
**B**：おおむね達成できている  
**C**：やや不十分である  
**D**：不十分である

|                  |  |               |                                |
|------------------|--|---------------|--------------------------------|
| 学校名              | 佐賀県立佐賀工業高等学校（定時制）  |               |                                |
| 1 前年度<br>評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格等取得するためには、基礎学力が必要になる。授業等を通して基礎学力の定着を図ってきたい。</li> <li>給食の喫食率が上がらなかった。今後も喫食率の向上を目指す。また、食育講話を実施し、きちんとした食生活の習慣を身に付けさせたい。</li> <li>各種講話を実施し、豊かな人間性を育成する教育を推進していく。</li> </ul> |               |                                |
| 2 学校教育目標         | 歴史に培われた伝統に学びながら、21世紀を担う平和で民主的な社会の形成者として、人間愛に満ちた心身共に健康で逞しい工業技術者を育成する。<br>校訓 「至誠剛健」（誠実で心身ともに逞しく）   |               |                                |
| 3 本年度の重点目標       | “ものづくり”から“者（ひと）づくり”そして“未来（あす）づくり”<br>ア 深い生徒理解に基づく指導  | イ 規律ある高校生活の定着 | ウ ものづくり教育の推進<br>エ 開かれた学校づくりの推進 |

| 4 重点取組内容・成果指標          |   |  |   | 5 最終評価      |      |         |       |
|------------------------|---|--|---|-------------|------|---------|-------|
| (1)共通評価項目              |   |  |   | 最終評価        |      | 学校関係者評価 |       |
| 評価項目                   | 重点取組内容  | 成果指標<br>(数値目標)   | 具体的取組   | 達成度<br>(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |
|                        |   |  |   |             |      |         |       |
| ●学力の向上                 | ○わかる授業の実践と学習意欲の向上<br>○資格取得への意欲向上と取得者数の増加を図る。  | ○普通教科における基礎的な学力を育成し、学びの基礎診断における国・数の平均60点以上。<br>○全資格取得の広報をしっかり行い、資格試験3か月前には補習計画を立て、100%達成する。<br>○全資格の合格率を前年度以上に目標を設定する。   | ・学びの基礎診断を利用し、生徒の学力を把握するとともに授業の学力に合わせた基礎的な内容や一般常識の学習を授業に取り入れる。<br>・給食前、課後の補習の時間を確保する。<br>・生徒の理解度に合わせて個別指導を行う。  |             |      |         |       |
| ●心の教育                  | ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動<br>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○「相手を思いやる」や「命の尊さを再認識した」と答える生徒100%を目指す。<br>○学校生活アンケート等を年6回以上実施し、「本校禁止」「指導員禁止」「早期対応に向けた体制の推進する」といじめがない」「させない」「ゆるさない」心」を育成する教育を実施し、いじめのない学校を目指す。<br>○ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動 | ・「エイズ予防講話」、「性に関する指導講話」を全学年実施する。<br>・アンケート調査ならびに担任による原級を重点とする。また、全職員による発見指導等を行い、未然防止・早期発見につなげる。<br>・全職員による発見と認知に関わる情報の共有化を図る。<br>・学校周辺の史跡探訪や佐賀の歴史や文化と人物についての講演会等を実施し、在習生に対する深い理解や佐賀に対する誇りと自信を持つ人材を育てる。 |             |      |         |       |
| ●健康・体づくり               | ○「望ましい生活習慣の形成」<br>●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」  | ○給食喫食率80%以上を目指す。<br>●望ましい食習慣を定着させ、「健康に食事は大切である」と考え、生徒の95%以上が、<br>○感染症、食中毒等を防ぐための自己管理能力の育成し、「手洗いは大切である」と答える生徒100%を目指す。  | ・食育講話を実施。食に対する重要性を説き、食を愛する。<br>・給食アンケートを2回実施し、反映する。<br>・グリンナーバグを使った手洗い指導の実施。  |             |      |         |       |
| ●業務改善・教職員の仕事の改革の推進     | ○業務効率の推進と時間外勤務時間の削減   | ○全職員で情報共有し、SG、SSWも連携し、積極的・協力的な体制をつくり、悩みのある生徒をSCに付いた割合100%を目指す。<br>●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限（1か月45時間、1年360時間）を遵守する。<br>○出勤管理システムを活用して長時間勤務の職員を把握し、月80時間以上0を目指す。             | ・担任、副担任と教育相談担当やSCとの連携を図り、職員が共通理解を深りながら指導・相談にあたる。<br>・月一回の職員会議において職員が情報を提供し、組織が教育相談の体制を確立する。<br>・学校閉庁日を設定する。<br>・コミュニケーション（各大事）にし、それぞれの業務の進捗状況等の情報共有をし、職員間のフォロー体制を強化する。                                |             |      |         |       |
| (2)本年度重点的に取り組む独自の評価項目  |   |  |   | 最終評価        |      | 学校関係者評価 |       |
| 評価項目                   | 重点取組内容  | 成果指標<br>(数値目標)   | 具体的取組   | 達成度<br>(評価) | 実施結果 | 評価      | 意見や提言 |
|                        |   |  |   |             |      |         |       |
| ○進路指導の充実               | ○進路希望の実現  | ○生徒・保護者にとって満足度の高い進路実現（進路決定100%）<br>○進路実現の基礎と職業観・勤労観の育成と定着。卒業生生活アンケートで「身についた」生徒70%以上を目指す。   | ・生徒の能力・適性・希望に合った進路先の情報提供と適切な指導助言に努める。<br>・在学中の就業率向上と職業講話などを通して職業観・勤労観の育成と定着を図る。   |             |      |         |       |
| ○ものづくり教育推進             | ○資格取得（実技を伴う）  | ○資格取得<br>計労技術検定合格率85%以上<br>パソコン利用技術検定合格率70%以上<br>危険物取扱者試験合格率30%以上<br>第2種電気工事士合格率65%以上  | ・給食前、放課後の補習の実施<br>・遅れ気味の生徒へ個別対応   |             |      |         |       |
| ●…県共通 ○…学校独自 ●…意を定める教育 |   |  |   |             |      |         |       |
| 5 総合評価・次年度への展望         |   |  |   |             |      |         |       |